

12

2010

師走

すくらむ

西海市

社協だより

力作ずらり

老人クラブ西彼町支部文化祭

(関連記事 7 ページ)

◆被表彰者（社会福祉施設等の職員を除く）

敬称略

氏名	役職及び功績
佐古健吾（大瀬戸）	身体障害者福祉協会会長
永磯利彦（西海）	身体障害者福祉協会西海町支部副支部長
松崎幸男（西海）	手をつなぐ育成会西海支部副支部長
荒瀬惇子（西海）	民生児童委員
水谷光子（大島）	民生児童委員
坂川和美（大島）	主任児童委員
浦詰則彦（崎戸）	民生児童委員
東 温子（崎戸）	民生児童委員
尾崎君子（崎戸）	10年以上にわたり、ボランティアで福祉講座健康体操科の講師を務める。
音訳ボランティア やまびこ（大瀬戸）	10年以上にわたり、広報紙や小説などの朗読で視覚障がい者福祉の向上に貢献。

たテープを、視覚障がいのある人に届ける活動で受賞した「音訳ボランティアやまびこ（大瀬戸）」の代表、小曽根ユキさんは「目の不自由な方らしい、手探りの状態からここまでたどりつきました」と、これまでの10年を振り返りました。

長崎県社協会長表彰

福祉向上に貢献 15人・1団体

永年にわたり地域の福祉向上に貢献した個人や団体の功績を称える「長崎県社協会長表彰式」があり、このほど西海市から15人と1団体が表彰されました。受賞したのは、在職15年以上の福祉団体役員や民生児童委員、地域に貢献しているボランティアなどの皆さん。社協だよりなどを朗読し



聴く人の顔を思い浮かべて朗読する小曽根さん

「つながり大切」

広島文教女子大学
蛭江教授が講演

市内の福祉施設職員を対象にした講演会が10月30日、西海総合福祉センターであり、広島文教女子大学の蛭江紀雄教授が講演しました。職員の資質向上を図ろうと市福祉施設連絡協議会が主催し、福祉施設職員約100人が参加。蛭江教授は「いま、求められている福祉の再構築」と題し、福祉施設に求められる役割について語りました。

特別養護老人ホーム施設長の経験を交えながら、時代とともに変化する福祉環境やサービスの質などについて解説。「福祉施設は地域住民にとって安心のシンボルでなければならぬ。地域の福祉を高めるために、在宅と施設の福祉に携わる人がつながり合い高め合って」と呼び掛けました。



講演に耳を傾ける福祉推進員

福祉施設職員が聴講
福祉推進員



つながりの大切さを訴える蛭江教授

また、10月31日には、福祉推進員約80人に向け「私たちが創る 私たちのまちの福祉」と題して講演。蛭江教授は、希薄化する人間関係のなかで一定の距離を保ちながら、必要な時は助け合える支え合いの仕組みづくりを提案しました。最後に「人の援助を受ける身でも、対等につながり合える地域の関係づくりに、福祉推進員は大切な役割を担っている」と話しました。

福祉を考える日に 福祉施設共同でイベント

西海市の福祉について考えるイベント「えがお・ふれ愛・ささえ愛」が11月7日、西海みかんドームであり、多くの市民でにぎわいました。

福祉の啓発を目的に、市内の保育園や高齢者、障がい者施設など42施設で構成する市福祉施設連絡協議会が主催し、今年で2回目。会場には、福祉施設を紹介

介したパネルや施設の利用者による作品展示、バザーなどのコーナーも設けられました。

特設ステージでは、佐世保市を中心に活動する男女ユニット「Sandy Trip」のライブのほか、総合福祉戦隊ケアレンジャーショーなどがあり、子どもからお年寄りまで世代を超えて楽しみました。



ケアレンジャーショーを楽しむ市民



身を乗り出して競技に挑戦

大島の福祉団体 レクリエーションでふれあい

社協大島支所は11月7日、福祉3団体のふれあいレクリエーション大会を大島農村労働福祉センターで開きました。

体を動かしながら、会員の親睦を深めようと平成元年から毎年開き、大島地区の母子会、身障協会、手をつなぐ育成会の会員約50人が参加。

5チームに分かれて、お手玉を的に投げて点数を競う競技などで楽しみました。端にボールのついたひもを使って、大きさの違う箱を手元に引き寄せる「箱取り合戦」では、思わず腰をあげて身を乗り出す参加者も。

会場から「頑張れ」と温かい声援が送られ、参加者は和やかにふれあいました。

ご存じですか？街で見かける福祉のマーク

若葉マークやもみじマークなど、車両に表示しているマークがありますが、こんなマークを見かけたことがありますか。それぞれのマークの意味をご紹介します。

身体障害者標識	聴覚障害者標識	障害者のための 国際シンボルマーク
肢体不自由者が運転する車に貼るマーク。	聴覚に障がいのある人が運転する車に貼るマーク。両耳をデザインしたもの。	障がいのある人が利用しやすい施設や公共輸送機関であることを示す世界共通のシンボル。車いすに乗っている人だけを意味するものではなく、障がいのあるすべての方のためのマーク。
このマークが貼られた車への幅寄せや無理な割り込み行為が道路交通法で禁止されています。		

このマークを目にしたら、皆様のご理解と思いやりをお願いします。人を思いやる心をもつことが住みやすい地域づくりにつながります。

赤い羽根胸に 市民が参加

赤い羽根共同募金の一環で、市民が楽しみながら募金ができるように、チャリティイベントを開きました。

グラウンドゴルフ大会を

11月2日、大瀬戸総合運動

公園で開き、25チーム15

0人が参加しました。

優勝

伊ノ浦G Gクラブ(西彼)

準優勝

板浦長寿会(大瀬戸)

第3位

雪浦クラブA(大瀬戸)

8ホール2ラウンドの打数で勝敗を競い、延べ34人がホールインワンを記録。「よしっ、入れ」と声を掛け合いながら、快音を響かせて競技を楽しみました。

快音響かせ150人プレー グラウンドゴルフ



和気あいあいと楽しむ選手たち

ゴルフに心地よい汗



力強いショットを放つ愛好者

11月14日には、ハウステンボスカントリークラブでゴルフコンペを開き、26人が18ホールのプレーで腕を競いました。

参加者は力強くショットを放ち、会話を楽しみながら心地よい汗を流しました。

パークゴルフで募金



好記録を目指しプレーする参加者

ミズイカなど続々

ルアーで釣り上げた魚の重量を競うつり大会を11月21日、崎戸エントランス公園で開きました。市内外から釣り自慢48人が参加し、大物を狙って思い思い



総合優勝の若林さん(左から2人目)と各賞の受賞者

11月14日、今年初めてパークゴルフ大会を大島パークゴルフ場で開き、42人が36ホールの合計スコアで競いました。

パークゴルフは、ゴルフボールより大きいボールを一種類のクラブで打ち、カップに入れる気軽なスポーツ。初めて体験する参加者も3、4人1組で和気あいあいと楽しみました。

のポイントで釣り糸を垂れました。

ミズイカ3匹とタコ1匹を釣り上げた若林大地さん(西海)が総合優勝し、軟体など魚種の部でも競いました。



これらの大会で集まった参加費から赤い羽根に募金されます。

学資の備え大丈夫？ お子さんの進学を応援します

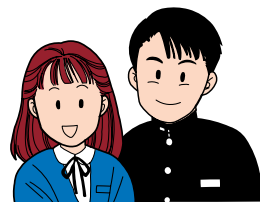
◆生活福祉資金◆ 教育支援資金

入学金、制服代、授業料、通学費等が足りないー。

そんな時、低所得世帯にお貸しする生活福祉資金の「教育支援資金」があります。

◆対象者

- ・低所得世帯で資金の融通を他から受けることが困難な世帯
- ・借入申込人は65歳以下の方（原則は世帯主）



◆教育支援資金の種類

教育支援費：就学するために必要な経費（授業料、通学費、寮費など）

就学支度費：入学に際して必要な経費（入学金、制服の購入費など）

資金の種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	貸付利子
教育支援費	高校 月額 35,000円以内	卒業後 6ヵ月以内	据置期間 終了後、 最長10年 以内	無利子
	高专 月額 60,000円以内			
	短大 月額 60,000円以内			
	大学 月額 65,000円以内			
就学支度費	500,000円以内			

※据置期間…償還しなくてもよい期間

◆申し込みに必要な書類

- ①生活福祉資金借入申込書
- ②世帯員全員が記載された住民票
- ③世帯で収入のある者全員の所得証明書
- ④合格通知書、入学許可証、在学証明書のいずれか1つ
- ⑤成績証明書もしくは長崎県育英会・日本学生支援機構奨学金非該当証明
- ⑥専修学校の場合、学校法人認可がわかる書類と就学期間を記した書類
- ⑦連帯保証人の所得証明書または源泉徴収票、確定申告書の控
- ⑧就学支度費の内訳がわかる資料

◆ご利用の条件

原則、長崎県育英会（高校進学の場合）や日本学生支援機構（短大・大学進学の場合）の貸付制度が優先です。

就学支度費と教育支援費を併せて借りることができます。また、教育支援費の場合、在学中の申し込みも可能です。ご利用条件の詳細は下記へお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

西海市社会福祉協議会

電話 29-4081

有料広告

お気軽にご相談ください

- 債務整理（借金の整理）
 - ・返済がきつい、取立てがきつい、生活費もままならないなど
 - ➡解決策はあります。あきらめずにご相談ください。（相談無料）
- 訴訟 訴状が届いたら放置せず必ずご相談ください。
- 訪問販売などの契約に関する事
- 相続・遺言に関する事
- 土地・建物・登記に関する事
- 成年後見に関する事

借金はすべて支払ってしまったのに、その債権の譲渡を受けたと言って、金銭の請求をされるケースがあります。身に覚えのない請求であれば、安易に支払ったりせず、まず、ご相談ください。

※交通手段を持たない方、出張致します。（費用不要）

みなと司法書士法人西海事務所 司法書士 中山雄一

西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷1133 秘密は固く守られます。

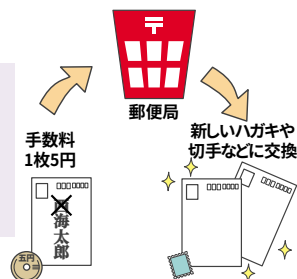
電話 0959-37-0780

「書き損じハガキ収集」で「ボランティア」？

そろそろ年賀状を書く時期です。昨年の余りや住所を書き間違ったなど、使い道がなくなった「書き損じハガキ」はありませんか。

書き損じハガキって？

- ・住所の書き間違い
 - ・印刷しすぎた年賀状
 - ・古くなったものなど
- 消印がないハガキ



書き損じハガキは郵便局で1枚5円の手数料を払うと、新しいハガキや切手と交換できます。ボランティアセンターでは、書き損じハガキを集め、ボランティア団体への情報提供のために活用します。誰にでも簡単にできる身近なボランティア活動を始めてみませんか。

西海市ボランティアセンター 電話 29-4081

西彼杵高校生

認知症見守るサポーターに

認知症を正しく理解し、地域で支える「認知症サポーター」養成講座が11月18日、西彼杵高校で開かれ、全校生徒295人が受講しました。

講座は、福祉への理解を深め思いやりの心を育てようと、2年に一度開かれる福祉講演会の一環。地域包括支援センターの職員が講師を務め、認知症の症状や

接し方、ボランティアの意義などを話しました。

「後ろから声をかけない、おだやかにはつきりした口調で」など対応のポイントを説明し、「認知症は老化ではなく病気。でも培ってきた人格は損なわれない。周りの様子に目を向けて」と解説

3年生の眞弓尚子さんは「周りの人が認知症を正しく理解し、支えることが大切だと思った。今度接する時は正しく対応したい」と感想を述べました。



クイズ形式で認知症ともの忘れの違いを学ぶ生徒



手遊びを楽しむ園児とお年寄り

大島 ひとり暮らし高齢者集い 楽しいひととき

社協大島支所では「ひとり暮らし高齢者の集い」を10月28日、大島農村労働福祉センターで開き、約100人が参加しました。

集いは大島町内の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に開催。舞踊や三味線のほか、抽選会や民生児童委員による甚句など趣向を凝らした出し物で楽しみました。

また、大島幼稚園の園児が踊りを披露し、お年寄り一人ひとりと手遊びでふれあう場面も。

帰り際には「また来年も会おうね」とお年寄りの語らう声があちこちで聞かれました。

有料広告

見積無料

「お仏壇のお洗濯・総塗替のめやす」

仏壇寸法	お洗濯	総塗替
戸巾 45cm	80,000円より	250,000円より
戸巾 60cm	190,000円より	290,000円より
戸巾 85cm	380,000円より	600,000円より
戸巾 100cm	600,000円より	980,000円より

▲修復はお仏壇の仕様やいたみの度合いによって差があります。

▲お仏壇の修復はお気軽にご相談ください。



- 仏壇、仏具 製作・修理
- 寺院ご内陣、納骨堂 製作・修理

池田仏具店

西海市西海町七釜郷567-29

電話・FAX 0959-33-2123

踊りや手芸で生きがいに 西彼町支部文化祭

多くの会員が集まった
文化祭



老連西彼町支部主催の文化祭が11月12日、西彼保健福祉センターで開かれ、町内の老人クラブの会員約200人が参加しました。

文化、芸能活動に取り組む高齢者の生きがいを高めようと、合併後初めて開催。

会員は自ら舞踊やカラオケなどを披露したり、西彼町ボランティア連絡会が振舞った豚汁とおにぎりを食べ、囲碁大会や川尻顕巨歌謡ショーを満喫しました。

作品展では会員による手芸や書道、盆栽など135点の力作に来場者は見入っていました。

連絡協だより

西海市福祉団体連絡協議会 社協本所内 電話 29-4111

連絡協

福祉6団体混合チームで楽しく競技

市福祉団体連絡協議会は10月24日、西海スポーツガーデンで福祉6団体交流事業を行いました。



水風船運びリレーを楽しむ参加者

市内の福祉団体の親睦を深めようと毎年開き、今年で4回目。老人クラブや身障協、療育を考える会などの会員約120人が参加しました。

競技前には、各団体の代表者が活動内容などを紹介。

県立西彼青年の家 辻道行所長の指導で、うちわに水風船をのせて落とさないように運んだり、混合チームで競い合いました。

また、母子会会員が蜂やテントウムシなどの華やかな衣装で会場を盛り上げ、会員は楽しいひと時を過ごしました。

老連

「健康づくりや介護予防活動」誓う



「健康づくり」などの実践を誓った大会

長崎県老人クラブ大会が11月10日、「創造と連帯の輪を広げて―心豊かな21世紀」をテーマに島原市で開かれまし

た。県内から約1,000人が集まり、西海市から43人が参加。

大会では、活発な活動を続けるクラブの表彰や、長崎ウ

県老人クラブ大会

エスレヤン大学の草野洋介教授による講演が行われました。教授は、「よく食べ、よく歩き、ストレスを溜めない

ことがいつまでも元気で健やかにいられる秘訣と説明。

大会で一同は「健康づくりや介護予防活動の地域への普及・拡大」など5項目の実践を誓い合いました。

身障協

パーキンソン病患者 ボッチャ交流で笑顔



白い目標球に狙いを定め
投球する様子

パーキンソン病患者とその家族が集う交流会が11月2日、西海総合福祉センターであり、身障協会員や大瀬戸厚生園の利用者など43人が参加しました。

外出の機会の提供や交流を目的に西彼保健所が主催し、目標の球に近づけて球を転がすスポーツ「ボッチャ」で交流しました。

初めての「ボッチャ」に戸惑う参加者も多く、経験者の身障協会員が優しく教えたり、ユーモアで笑わせて緊張をほぐす場面も。転がる球の行方に会場中に歓声が沸いていました。

家族介護者教室

家族を支えるあなたを支えたい

参加者募集

家庭や施設で家族を介護している方を対象に、家族介護者教室が開かれます。介護者が安心して介護が続けられるよう、勉強会や情報交換をしながら日頃の不安や疑問を解消しませんか。参加費は無料。お気軽にご参加ください。

期 日	時 間	場 所	内 容
1月13日(木)	14時～16時	大島農村勤労福祉センター	高齢者を取り巻く環境について
1月21日(金)	14時～16時	西海総合福祉センター	知って安心 認知症
1月27日(木)	14時～16時	西彼保健福祉センター	良くわかる介護保険
2月15日(火)	10時～12時	江島住民センター	認知症の対応と家族支援
2月15日(火)	13時～15時	平島住民センター	認知症の対応と家族支援
2月24日(木)		長崎市	介護疲れを癒そう

【申し込み・お問い合わせ先】

主催：西海市福祉施設連絡協議会 事務局（西海市社協 電話 29-4081）

赤い羽根チャリティー

音楽会2010

～あなたに届けたい 音楽のおくりもの～

と き

平成22年12月11日(土)

17時開場

17時30分開演

と ころ

大島文化ホール

入場料

500円（高校生以下は無料）

入場料は全額募金になります。

お問い合わせ先：西海市社会福祉協議会 電話 29-4081

プログラム

■第1部■

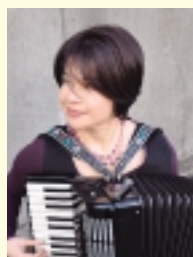
市民参加の合唱や演奏

■第2部■

岩城里江子

アコースティック

ライブ



入場者募集

ご寄付・お礼

10/20～11/16受付分

社会福祉事業資金として次の方々から善意や香典返しの一部を寄付いただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

▽忌明寄付

西彼町 楠本マサミ様

(故 タツ様)

西海町

◆福田フサ様

(故 三千年様)

大島町

◆牧野直吉郎様

(故 トム様)

益永 實様

◆益永 實様

(故 タツ子様)

◆小瀬弘子様

◆草富和弘様

◆清水美智代様

(故 谷内ハル様)

崎戸町

◆長濱一登様

◆森 敏治様

◆三岳才助様

(故 キヨ様)

(故 ミヨ様)

(故 クニ様)

大瀬戸町

◆田崎シズ子様

(故 作雄様)

◆田中俊明様

(故 良子様)

◆登立ミキ様

(故 忠允様)

◆江崎 務様

(故 国恵様)

◆森下ミチ様

(故 秀勝様)

◆竹本初代様

(故 方一様)

◆甲木キヌエ様

(故 小川マサ様)

◆入濱 誠様

(故 ユキノ様)

◆匿名希望

▽一般寄付

◆崎戸町

◆片桐八重子様

◆大瀬戸町

(株)江崎海陸運送様

編集後記

師走に入り、今年も残すところあとわずか。年賀状や宝くじなど年末の風物詩を耳にすると、あつという間に年の瀬です。

この時期になると1年が過ぎる速さを感じざるをえません。まさに「光陰矢のとし」。

毎年のことながら自身自身を振り返り、反省することもしばしば。

慌ただしい年末ですが、今年最後まで笑顔で過ごしたいと思います。

(H)